

# PURE CHABLIS

*One grape  
One region  
One of a kind*

*Only from France*

【Press Release】6月29日（水）

## シャブリワインの多様性を音楽で発見！4つのAOCをイメージした

### 楽曲「シャブリ・シンフォニー」を発表



去る5月末日、ブルゴーニュワイン委員会（Le Bureau Interprofessionnel des Vins de Bourgogne）は、シャブリ/Chablisワインをイメージした楽曲「シャブリ・シンフォニー」を、プレスやワイン業界関係者に向けたセミナー試飲会&コンサートを開催し、発表しました。シャブリワインは、フランス東部のブルゴーニュ北部が原産地となる、単一ブドウ品種「シャルドネ」で造られる4種のアペラシオンで構成される白ワインで、他の産地にはない繊細さが特徴です。日本は金額、分量とともに、輸出先として第三位の市場となっています。

ブルゴーニュワイン委員会は、「シャブリ」という名称の知名度もあり、シャブリワインの純粋さやミネラル感については、日本でも多く語られてきましたが、今回は、シャブリのもつ多様性や多彩な味わいに改めて着目し、皆さまのより深い理解につながるよう新しいアプローチを試みました。

これまで、ブルゴーニュワイン委員会は、写真家、宝石商、デザイナー、映像作家などと共に、シャブリワインを味わった時の感覚や感情を作品として表現してきましたが、本年2022年は、日本でのプロモーションの一環として、初となる「音楽」を表現する媒体に選びました。この楽曲を通して、シャブリワインの4種のアペラシオンが持つ個性や豊かさを聴覚、嗅覚、味覚から感じ取り、シャブリワインの真髄を体感してほしいという思いを込めています。

「シャブリ・シンフォニー」は、作曲家の松波匠太郎氏に新曲の創作を依頼。ソムリエの近藤佑哉氏との4種のシャブリワインの試飲会を経て得た官能特性や、感性、ブルゴーニュワイン委員会との詳細にわたる対話を重ねて、世界初となる楽曲

として完成しました。この組曲「シャブリ・シンフォニー」は、それぞれの独立した短い4曲で構成され、それぞれに各オペレーションの名前が付けられ、四重奏で演奏されます。「シャブリ・シンフォニー」は[公式 HP](#)からご視聴いただけます。表情の異なる4つのオペレーションの違いを表現した楽曲の旋律や音色の特徴を、シャブリワインを味わいながら楽しんでいただければ幸いです。

## 4つのオペレーション、4曲からなるシャブリの「組曲」

### ■ご視聴いただけるもの

1. 「シャブリ・シンフォニー」4曲フルバージョン (全6分)
2. 「シャブリ・シンフォニー」プティ・シャブリ、シャブリ、シャブリ・プルミエ・クリュ、シャブリ・グラン・クリュの4曲の個別演奏。松波氏と近藤氏によるトーク形式の解説付き、コンサート同録バージョン (全27分)
3. 鑑賞用の楽曲のプログラム(別添 PDF)

※本音源、ビデオは、先日行われた自由学園明日館講堂で開催しました演奏会の録音となります、一部会場音などが含まれますのであらかじめご了承ください。



### 今回の楽曲作成の際に試飲された4つオペレーションのワイン

- プティ・シャブリ、2019 ドメーヌ・ビヨール・シモン
- シャブリ、サンマルタン、2019、ドメーヌ・ラロシュ
- シャブリ・プルミエ・クリュ、コート・ド・レシェ、2019、ドメーヌ・ダニエル・ダンプ・エ・フィス
- シャブリ・グラン・クリュ、ヴォーデジュール、2019、ドメーヌ・ジャン=ポール・エ・ブノワ・ドロワン

### ■作曲家によるシャブリ・シンフォニー鑑賞用ノートより■

4つの独立した曲で構成される組曲。これらの曲は単独で、あるいはアンサンブルで演奏されます。

松波氏が敬い、今年没後30周年を迎えたフランスの現代音楽家オリヴィエ・メシアンが好んだ編成である、4種の楽器を使った四重奏で演奏されます。

### ■それぞれの楽曲について■

#### 1曲目 プティ・シャブリ：

ポートルンディアン期の石灰質土壌、若いうちが飲み頃

作曲家コメント「軽やかで明るく、若々しい澆刺さが魅力、メインの楽器は、ヴァイオリン」

他のオペレーションの「末娘」の位置づけです。

燃えるような、でもちょっと無茶をする。この勢いが組曲全体を牽引していきます。

## 2 曲目 シャブリ：

大部分は、キンメリジャンの石灰質土壌の斜面に植えられ、純粹さ、爽やかさとミネラル感が特徴

作曲家コメント「バランス良くオーソドックス、親近感、普遍的、メインの楽器はピアノ」

テンポはモデラート（中くらい）で安定しています。より「クラシック」な雰囲気。このため、親しみやすいピアノで表現されます。「末娘」のプティ・シャブリより大人しい。

## 3 曲目 シャブリ・プルミエ・クリュ：

シャルドネが、個性豊かなクリマを表現するワイン

作曲家コメント「明らかな丸み、深く、しなやか、メインの楽器はクラリネット」

シャブリワインの階段を登り続けています。落ち着いたテンポの中、複雑に絡み合う弦を背景に、クラリネットの滑らかな旋律が歌われます。

## 4 曲目 シャブリ・グラン・クリュ：

スラン川右岸の主に南や南西向きの日当たりのいい急斜面。キンメリジャン土壌がところどころ露出していて、優美なワインになる条件がそろっている。

作曲家コメント「頂点、より深く、輝かしい、メインの楽器はチェロ」

落ち着いた中にも威厳があり、チェロの持続に支えられ、曲は力強く奏でられます。ここまでのテーマが随所に散りばめられ、組曲全体のフィナーレを華々しく飾ります。



左から近藤佑哉氏（銀座レカン料飲統括マネージャー）、佐野隆哉氏（ピアノ）、吉田誠氏（クラリネット）、上村文乃氏（チェロ）、川久保賜紀氏（ヴァイオリン）、松波匠太郎氏（作曲家）



近藤佑哉氏による試飲付きセミナーを開催（上記写真）。上記4本の銘柄とは別の8種のシャブリワインの料理とのペアリングや自由試飲会なども行われ、いずれの会場でも「シャブリ・シンフォニー」が三重奏やピアノ・ソロなどで演奏されました。

○この件に関するお問い合わせ

ブルゴーニュワイン委員会（BIVB）

お問合せ先（日本国内）：Sopexa Japon Chablis 担当：中谷 E-mail：[pr\\_jp@sopexa.com](mailto:pr_jp@sopexa.com)

TEL：050-3495-3100 | FAX：03-5789-0087 | 住所：東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 3F

お問合せ先（フランス）：マーケティング／BIVB-Chablis 広報 責任者 フランソワーズ・ルール（Françoise Roure）

E-mail：[françoise.roure@bivb.com](mailto:françoise.roure@bivb.com)

TEL：+ 33(0)3 86 42 42 22 FAX：+ 33(0)3 86 42 80 16